

学修成果		1年次		2年次		3年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
コミュニケーション能力	日本語についての基礎的な知識と実践的な表現方法を学ぶことを通して、コミュニケーション能力の向上と自己表現につながる文章表現力が身についている	日本語基礎	文章表現法				
	課題解決能力と対人援助の基礎となるコミュニケーション能力が身についている	対人援助演習Ⅰ					
	世界や日本の様々な地域、言語、文化、社会、生活を理解し、実践的なコミュニケーション能力として手話と点字で挨拶や自己紹介ができる表現力が身についている	聴覚障害者への理解と手話	視覚障害者への理解と点字 多文化共生				
	英語で聞く・話す・読む・書くの基礎的能力が身についている	オールワークショップ [*] （英語）Ⅰ	オールワークショップ [*] （英語）Ⅱ	コミュニケーション（英語）Ⅰ	コミュニケーション（英語）Ⅱ 医療英語		
情報処理能力	アンケート票の作成、インタビュー調査が実施できる力と統計情報を読み取る力が身についている		社会調査論	生活と統計			
	情報処理に必要なとなる倫理を理解し、文書・プレゼンテーション資料の作成とデータ分析能力が身についている	情報処理演習Ⅰ	情報処理演習Ⅱ				
就業力	数学的な知識を活用し状況に応じて論理的な思考や判断する力が身についている	社会人基礎学力（数学）	社会人基礎学力（数学） 簿記会計				
	専門職業人としてのマナー・社会常識を身につけ、状況を見極め臨機応変に対応できる力が身についている	ソーシャルマナーⅠ	ソーシャルマナーⅡ				
	社会人基礎力として、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力が身についている	キャリアデザインⅠ			キャリアデザインⅡ	キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ	
社会への理解力	人間・社会に対する幅広い理解を有し、社会事象を分析できる能力が身についている	社会学	生物学				
	発達、教育の基礎的概念を理解し、特別の教育的ニーズのある幼児、児童生徒の学習上・生活上の困難と対応について説明できる力が身についている	数学の原理	教育心理学				
	社会と生活の仕組みを理解し、社会がつくる問題を扱える自信が身についている	特別支援教育原論					
	社会と生活の仕組みを理解し、社会がつくる問題を扱える自信が身についている	社会福祉Ⅰ	社会問題論	ジェンダー論	人間工学		
		人間関係Ⅰ	人間関係Ⅰ 人権と倫理 医療倫理				
心身の健康管理能力	医療者やクライアントとの関わりに必要な医学、精神医学、リハビリテーションの基礎知識が身についている	医学知識	医学知識	精神医学Ⅰ			
		リハビリテーション概論					
		ヘルスプロモーション					
	生涯に渡り、自身の健康の維持、増進する方法を学び実践できる能力が身についている		スポーツ実技Ⅰ スポーツ実技Ⅱ				
行動分析能力	人間の発達について基礎的な知識を身につけ、科学的視点から心を捉えることができる	心理学入門		発達心理学	障害者の心理 高齢者の心理		
課題解決能力	人間への多面的な見方と多様な専門知識を身につけ問題解決できる能力が身についている	F A 演習	対人援助演習Ⅱ	ブレ演習Ⅰ	ブレ演習Ⅱ		



学修成果		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期		前期	後期	前期	後期	前期	後期
人・医療・福祉への理解力	社会で活躍・貢献できる専門職として、人間・社会への幅広い理解を踏まえた知識や、医療や福祉について考える力が身についている		医学一般Ⅰ		医学一般Ⅱ	視能病理学			
			人間発達学			視能リハビリテーション学			保健医療福祉と視能障害
専門知識の理解と応用力	眼の構造・視覚の成り立ち・視機能評価方法・光学を理解し、検査との繋がりを考えることができる力が身についている	視能学総論					視能検査機器学		
	主たる眼疾患の特徴的な症状所見、治療法を理解し、検査との繋がりを考えることができる力が身についている		基礎視能学Ⅱ						
専門知識の理解と実践力			視能障害学総論	眼科薬理学	視能障害学各論Ⅰ	視能障害学各論Ⅱ			
				神経眼科学					
	両眼視機能と視能矯正との関連を理解し、正しい手順で検査を行い結果を評価できる力に加え、個々に適した眼鏡を選択できる力が身についている		視能矯正学総論	視能矯正学各論Ⅰ	視能矯正学各論Ⅱ	視能矯正実践論			
					視能矯正学演習Ⅰ	視能矯正学演習Ⅱ			
専門知識の理解と実践力	眼科検査の原理・測定方法・目的・適応を理解し、正しい手順で検査を行い結果を評価できる力が身についている		視能検査学総論	視能検査学基礎演習	視能検査学演習Ⅰ	視能検査学各論			
					視能検査学演習Ⅱ	視能学実習Ⅰ			
	弱視および斜視の病態の評価方法と各型を理解し、個々に適した訓練方法を選択できる力が身についている		視能訓練学総論	視能訓練学各論Ⅰ	視能訓練学各論Ⅱ	視能学実習Ⅱ			視能訓練実践論
課題解決力									
	視能訓練士として臨床に必要な理解力・応用力・表現力に加え、問題点に気づき主体的に解決できる力が身についている					医療福祉学演習Ⅰ	視能学実習Ⅲ	視能学実習Ⅳ	医療福祉学演習Ⅱ

学修成果		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
子どもの成長・発達への理解	子ども理解のために、心と身体 の成長・発達に関する理論を修得できている 子どもの背景にある問題や特別な支援を要する子どもなど、個の特性や状況に応じた対応の方法を理解することができる	子どもの保健		幼児理解の理論と方法					
				保育の心理学 子どもの食と栄養Ⅰ 子どもの食と栄養Ⅱ 特別な支援を要する子どもの理解Ⅰ 特別な支援を要する子どもの理解Ⅱ 学習・発達論					
				子どもの健康と安全 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ					
連携・協働、コミュニケーションする力	他者との積極的な関わりの中で、チームとして連携・協働する力を発揮し、課題解決することができる			教育相談の理論と方法		子育て支援	教育社会学 地域と子ども学 子ども家庭支援論 子ども家庭支援の心理学		
教育実践力	表現技術やICT活用能力等を獲得し、教科内容の構成と指導法の理解を深め、授業実践に活かすることができる 教育・保育にまつわる専門的理論・技術・方法を実習の場で実践・応用することができる	音楽器楽Ⅰ		音楽器楽Ⅱ	ことばの表現Ⅱ	かたちの表現Ⅱ			
		音楽と表現Ⅱ		子どもと表現Ⅱ	教育実習指導Ⅱ（幼稚園） 教育実習（幼稚園）				
		教育実習指導Ⅰ（幼稚園） 教育実習（幼稚園）		保育実習指導ⅠB（施設） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ					
		保育実習指導ⅠA	保育実習指導ⅠB（保育所） 保育実習Ⅰ（保育所）	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 教育方法論 図画工作科指導法		教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む） 国語科指導法 算数科指導法 理科指導法 社会科指導法 外国語（英語）指導法 音楽科指導法 家庭科指導法 体育科指導法	道徳理論と指導法 生活科指導法		
		小学校実習指導	介護等体験		教育実習事前・事後指導（小学校） 教育実習（小学校）				
探究力、問題解決能力、創造する力	子どもと関わる実践的経験と専門理論を結びつけることで現代的課題を捉え、自らの教育・保育を創造、発表、議論して探究することができる					遊びの実践法Ⅰ 遊びの実践法Ⅱ 生徒指導論（道徳指導を含む）	保育・教職実践演習（幼・小）	子ども教育学演習Ⅱ	
						子ども教育学演習Ⅰ			
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	教育職・保育職の意義や役割、職務内容、学校教育・保育の制度、経営等の基礎的・基本的知識を理解し、専門性を向上させることができる 教育・保育の基礎的理念や原論的内容、教科の本質を理解し、子どもの発達や学びの理論を修得することができる	日本国憲法	教育原理（幼稚園） 教育原理（小学校）	幼児教育課程論	教育心理学（幼・小）				
		教職概論（幼稚園） 教職概論（小学校）		教育課程論					
		保育者論	保育原理	国語 算数 図画工作	理科 社会 小学英語 小学国語 小学算数 体育	音楽 家庭	生活		
保育内容の理解	保育を展開するための保育内容を理解し、保育を構想する技術を身につけることができる	幼児体育Ⅰ	幼児体育Ⅱ 人間関係 環境 言葉 かたちの表現Ⅰ 音楽と表現Ⅰ	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 ことばの表現Ⅰ	子どもと言葉 子どもと表現Ⅰ	保育内容総論	子どもと文化		
保育を支える福祉	福祉の思想や理念、システムの理解を通して、地域・社会における保育の役割と機能を理解することができる	子ども家庭福祉		社会的養護Ⅰ	社会的養護Ⅱ 児童館の機能と運営	社会福祉 児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ 児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅱ	保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ 児童厚生員実習		

学修成果		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
心理学の基礎的知識力	心理学についての基本的な概念や理論を理解でき、基礎的知識を身につけ、科学的視点から心や行動をとらえることができる。	心理学概論 臨床心理学概論 癒やしの科学 ライフスタイル論 スポーツ心理学		感情・人格心理学 感覚の心理学 社会心理学		発達心理学総論 知覚・認知心理学 神経・生理心理学			
		学習・言語心理学 人体の構造と機能及び疾病 健康教育概論 ボランティア活動論		福祉心理学 心理療法Ⅰ 精神疾患とその治療 健康心理学		教育・学校心理学 心理学的支援法 障害者・障害児心理学 心理療法Ⅱ グループ・ダイナミックス ポジティブ心理学		司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 対人援助の心理 心理薬理学 ストレスマネジメント	
心理学研究および心理支援の専門的知識力（臨床力・応用力）	保健医療、教育、福祉、司法、産業の多様な領域の心理学に関する専門的知識と思考力が身についている。	公認心理師の職責 健康・医療心理学 カウンセリング心理学 社会・集団・家族心理学		福祉心理学 心理療法Ⅰ 精神疾患とその治療 健康心理学		司法・犯罪心理学 産業・組織心理学 対人援助の心理 心理薬理学 ストレスマネジメント		心理学特殊講義Ⅲ（臨床心理学総論Ⅱ） 臨床コミュニティ心理学 関係行政論 職場のメンタルヘルス	
心理支援の実践力	心理支援を実施するにあたり、対象者のかえる問題点を明らかにし、援助介入のための方針を立てることができる。保健医療、教育、福祉、司法、産業の多様な領域における心理臨床の場に直接触れることによって、心の問題の解決及び予防ができる心理の専門職に必要な実践力が身についている。			心理的アセスメント 心理実習Ⅰ		健康心理アセスメント実習 心理実習Ⅱ		心理演習	
心理学研究力	心理学で用いられる様々な研究方法とその考え方を理解し、実際に心理学研究を計画し、実施および分析することができる。	心理学研究方法		心理学統計法Ⅰ 心理学実験Ⅰ 心理学統計法Ⅱ 心理学実験Ⅱ		多変量解析 質的研究法			
	自らの興味関心、問題意識をベースとして研究テーマを見出し、その研究が人々の営みにどういった関連があるか、どう個人に、そして社会に還元されるかも視野に入れた研究を行う力が身についている。					心理学演習Ⅰ		心理学演習Ⅱ	
就業およびビジネス力	心理学の知識を応用し、ビジネスについての造詣を深め、社会や企業で活躍できる職業人としての力が身についている。	ビジネス心理学入門 ゲームプログラミング入門		パーソナルブランディング ライフスタイルノバージョン クリエイティブ心理学		心理学特殊講義Ⅰ（キャリア・マネジメント） マーケティング心理学 企業コーチング心理学			
教育の基礎的理解力	教員として必要な専門的知識、課題解決能力が身についている。教職の重要性、歴史と役割、教員の職務内容、現状、制度について理解するとともに、自己の教育観を養い、教職についての造詣を深め、自立した職業人としての力が身についている。	教育原理 教職概論		教育制度論 学習・発達論 教育課程論 教育社会学					
	児童生徒個々の発達段階や発達課題を理解し、不応応や問題行動等の意味を踏まえた上で、児童生徒個々に応じた生徒指導および教育相談を展開できる。道徳、特別活動及び総合的な学習の時間の目標や内容、評価方法を理解し、指導計画に基づいた実践的な指導ができる。			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 生徒指導論（進路指導を含む） 道徳教育論 教育相談の理論と方法 教育方法論（情報通信技術の活用含む）					
教科に関する専門的知識および各教科の指導力	社会科教育の全体的な概観を理解し、学校教育における指導の方法を学び、実際の指導ができる。	日本史概論 日本国憲法 哲学 国際社会論 地理学概論 法学 経済学 倫理学 外国史概論		環境経済論		社会科教育法Ⅰ（社会） 公民科教育法Ⅰ（社会） 社会科教育法Ⅱ（社会） 公民科教育法Ⅱ（社会）			
教育実践力	学校現場の実践に直接触れることによって、教諭として必要な実践力が身についている。			介護等体験				教育実習事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中等）	
特別支援教育の専門的理解、指導力、および実践力	障害（知的障害、肢体不自由、病弱）のある児童生徒の教育に携わることの意義と目指す教師像を語るることができる。			特別支援教育 知的障害教育総論 肢体不自由教育総論 病弱教育総論		知的障害者の心理・生理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 知的障害者の教育課程及び指導法 病弱者の教育課程及び指導法 肢体不自由者の教育課程及び指導法			
	障害（自閉症、発達障害、LD等）のある児童生徒の教育に携わることの意義と目指す教師像を語るができる。			自閉症児の心理・生理・病理		障害児の教育と指導 発達障害論 LD等教育総論			
	特別支援教育の実践に直接触れることによって、特別支援教育の実践者として必要な実践力が身についている。					特別支援教育実習			

学修成果		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
理学療法 専門基礎 知識	人体の基本構造やその働き、 身体の運動メカニズムを理解する上で必要な知識が身についている	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ		解剖学演習 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 身体運動学		生理学演習 身体運動学演習 病態運動学		理学療法専門基礎科目演習	
		理学療法概論							
基礎医学 の知識	病気が発生する原因及びメカニズム、 医薬品の効果や人間工学や支援工学を基礎とするエンジニアリング技術の知識が身についている			病理学概論 薬理学 リハビリテーション工学		リハビリテーション栄養学		分子生物学 生化学 免疫学	
臨床医学 の知識	リハビリテーション医学の基礎知識を学び、 理学療法へ応用する基盤の形成、臨床現場で役立つ知識が身についている	神経内科学Ⅰ 整形外科Ⅰ リハビリテーション医学 内科学		神経内科学Ⅱ 整形外科Ⅱ 臨床検査学		画像診断学 小児科学 臨床心理学			
理学療法 評価法	解剖学・生理学・運動学の知識を基に、 理学療法評価法についての知識と技術が身についている	評価学演習Ⅰ（概論） 評価学演習Ⅱ（身体計測）		評価学演習Ⅲ（運動器障害） 評価学演習Ⅳ（中枢神経障害）		応用評価学演習 評価学総合演習			
理学療法 の治療 （運動器系）	運動器障害理学療法の歴史と背景、 各種治療手技の種類や特徴、適応を学ぶことにより、 運動器系理学療法の治療技術や知識が身についている			運動療法学総論 運動器障害理学療法学		運動器障害理学療法学演習			
理学療法 の治療 （中枢神経系）	中枢神経系障害に対する理学療法の基本的な評価と治療に必要な基礎知識、 中枢神経系障害に対する理学療法の基本的な評価と治療アプローチが身についている			中枢神経系障害理学療法学		中枢神経系障害理学療法学演習 神経筋疾患理学療法学			
理学療法 の治療 （呼吸器・循環器系）	呼吸器疾患、循環器疾患の基礎的な医学的知識、 理学療法の意義、呼吸器・循環器系理学療法の治療技術が身についている			呼吸・循環障害理学療法学		呼吸・循環障害理学療法学演習			
理学療法 の治療	幅広い年齢構成、 障害の多様化・重度化・重複化に対応した社会のニーズに必要とされる理学療法の知識や治療技術が身についている	人間発達学		運動発達学演習 義肢装具学 発達障害理学療法学 義肢装具学演習 脊髄障害理学療法学		発達障害理学療法学演習 脊髄障害理学療法学演習 物理療法学 日常生活活動学演習 物理療法学演習 代謝障害理学療法学			
スポーツ医科学 の基礎知識と治療	身体トレーニングの基礎理論や実践法、 スポーツ現場での理学療法において必要となる治療技術が身についている			救急措置法演習		スポーツ傷害学演習 介護・傷害予防論 スポーツトレーニング学演習 運動処方学演習			
地域理学療法	障害者（児）や高齢者の社会や自宅の生活における生活環境の整備方法、 生活機能低下に対する理学療法の治療概念や技術が身についている			地域生活環境論演習		地域リハビリテーション学 高齢者理学療法学 地域理学療法学演習			
理学療法 研究法	理学療法の研究の進め方、指導教員の指導のもとで、 各自の定めたテーマに沿った研究活動、 研究発表方法が身についている			理学療法研究基礎		理学療法学演習ⅠA 理学療法学演習ⅠB		理学療法学演習Ⅱ	
臨床実習	医療におけるリスクマネジメント、 臨床実習指導者の指導のもとで、 臨床場面における理学療法の評価方法や治療方法、 理学療法の総合的な基礎知識が身についている	医療安全管理学 理学療法学実習Ⅰ（見学） チーム医療論演習		理学療法管理学 理学療法学実習Ⅱ（検査測定）		臨床実習前学内演習（理学療法） 理学療法学実習Ⅲ（評価） 臨床実習後学内演習（理学療法）		理学療法学実習Ⅳ（総合A） 理学療法学実習Ⅴ（総合B） 総合理学療法学演習	

学修成果		1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人間と生活	作業療法の専門性を学ぶ前段階としての基礎的知識を演習を通して身に付ける	対人援助演習Ⅰ	対人援助演習Ⅱ						
科学的思考の基盤									
社会の理解		F A 演習		ブレ演習Ⅰ	ブレ演習Ⅱ				
人体の構造と機能及び心身の発達		解剖学Ⅰ	解剖学演習						
		解剖学Ⅱ							
			生理学Ⅰ	生理学演習					
			生理学Ⅱ						
			人間発達学	運動発達学演習					
				病理学概論	リハビリテーション工学				
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	作業療法の専門性を学ぶ前段階としての基礎医学やリハビリテーション関連の知識を身に付ける	医療安全管理学	内科学		リハビリテーション医学		臨床心理学		
			神経内科学Ⅰ	神経内科学Ⅱ					
			整形外科Ⅰ	整形外科Ⅱ					
				小児科学					
				精神医学Ⅰ	精神医学Ⅱ				
					薬理学		画像診断学	リハビリテーション栄養学	
保健医療福祉とリハビリテーションの理念		リハビリテーション概論	チーム医療論演習				地域リハビリテーション学		
基礎作業療法学	作業療法の専門性を学ぶための基礎知識を理解し演習で実践能力を身に付ける	作業療法学概論							
		基礎作業学							
		基礎作業学演習Ⅰ	基礎作業学演習Ⅱ						
				作業療法運動学	作業療法運動学演習				
作業療法管理学	作業療法管理の基礎を身に付ける								作業療法管理学
作業療法評価学	作業療法における評価を理解し演習で実践能力を身に付ける		作業療法評価学	身体障害作業療法評価学	作業療法評価学演習				
作業療法治療学	作業療法における治療を理解し演習で実践能力を身に付ける			身体障害作業療法治療学Ⅰ	身体障害作業療法治療学Ⅱ	身体障害作業療法治療学演習Ⅱ			
					身体障害作業療法治療学演習Ⅰ				
				精神障害作業療法治療学Ⅰ	精神障害作業療法治療学Ⅱ	精神障害作業療法治療学演習	職業生活支援論		
					発達障害作業療法治療学	発達障害作業療法治療学演習			
					高齢者作業療法治療学	高齢者作業療法治療学演習			
					高次脳機能障害作業療法治療学	高次脳機能障害作業療法治療学演習			
				日常生活技術学	日常生活技術学演習		義肢装具学		
							義肢装具学演習		
地域作業療法学	地域作業療法の基礎を身に付ける					地域作業療法学	住環境整備学		
臨床実習	作業療法における評価・治療を臨床実習を通して実践し臨床的な能力を身に付ける		作業療法学実習Ⅰ（見学）			作業療法学実習Ⅱ（地域リハビリテーション）	作業療法学実習Ⅲ（評価）	作業療法学総合実習Ⅰ	
							臨床実習前学内演習（作業療法）	作業療法学総合実習Ⅱ	臨床実習後学内演習（作業療法）
専門演習	研究法を学び研究の基本を実践し作業療法研究の能力を身に付ける					作業療法学演習Ⅰ A	作業療法学演習Ⅰ B		作業療法学演習Ⅱ

カリキュラムツリー（言語聴覚学科）

